

SBS-Education Studies(2015)
JACS X300(Academic Studies in education)

https://www.qaa.ac.uk/docs/qaa/subject-benchmark-statements/sbs-education-studies-15.pdf?sfvrsn=959cf781_10

Univeristy Collge London Institute of Education
(1826, Russel Group, n=31,696, THE2019 : 14位、
教育では2位)

<https://www.ucl.ac.uk/srs/governance-and-committees/qme/ucl-prog-specs/ioe-prog-specs-16-17>

Oxford Brookes University
(1865 Oxford School of Art→1891 Oxford City Technical
College→1992 OBU, n=14,006, THE2019: 501-600位)

<https://www.brookes.ac.uk/about/directorates/asa/registry/apqo/programmes/mc10-wd-we.pdf>

4. Definig principles All programmes in education studies:	Educational aims of the programme	Aim/s of the programme
1) 知的資源、理論的知見、倫理的知見、学問分野の知見を幅広く援用することで、教育及び教育が展開する文脈に関する理解を導く。	1) 教育の歴史的、哲学的、心理学的、社会学的基盤をはじめとする、現代社会における教育の基礎について検討する。	1) 知的資源、理論的知見、倫理的知見、学問分野の知見を幅広く援用することで、教育及び教育が展開する文脈に関する理解を導く。 2) 四つの学問分野（歴史学、哲学、心理学、社会学）に関する基礎的な理解、及び個々の関心に応じて特定の学問分野や教育課題について深く探究できるようにする。
2) 学生が、多様な文脈における教育の主要な特徴について、幅広くかつバランスよく知り、理解できるようにする。	3) 人間の学習プロセスについて、学校や大学に限定されない、幼児期、青年期、成人期にわたる現代生活の普遍的な営みとして理解する。	3) 多様な文脈における教育の主要な特徴について、幅広くかつバランスよく知り、理解できるようにする。
3) 学生に、教育の目的、価値、成果、及び社会との関係に関する本質的課題について考察するように促す。	2) 平等・不平等の問題等、教育と社会的公正との関係について考察する。	4) 学生に、教育の目的、価値、及び社会との関係に関する本質的課題について考察するように促す。
4) 学生に、理論、政策、実践の問題点について考察する機会を提供する。	4) 教育の各段階における取組の特徴等、英国及び諸外国における教育制度に関する知識を習得する。 5) 教育におけるグローバルな事象、及び国際開発におけるその重要性について理解する。	5) 理論、政策、実践の論争的な本質について考察する機会を提供する。
5) 学生が、多様な文脈における学習と教育のプロセスについて吟味するように促す。	6) 教育の未来について、その可能性、機会、課題を評価する。	6) 学生が、多様な文脈における教育のプロセスについて吟味するように促す。
6) 学生が、教育事象に関する論理的見解を、明快で一貫した形で構築して維持できるように育む。		7) 学生が、教育事象に関する論理的見解を、明快で一貫した形で構築して維持できるように育む。
7) 学生の、独立した考え方を持ったり、エビデンスについて批判的に検証したりする諸能力を育む。	8) 自ら選択した関連する課題について、指導教員のもとで研究して論文を執筆する機会を得る。 7) 個々の関心に応じて専門性を高める。	8) 学生の、独立した考え方を持ったり、エビデンスについて批判的に検証したりする諸能力を育む。

→ ローカライズして書き換え（研究大学として → 概ね同じ
の特徴）

5. Subject strands

Knowledge and understanding

IOE Knowledge and understanding of

Knowledge, understanding, and skills:

1) 学習プロセス－主要なパラダイムと教育実践への影響を含む。	1) 教育学を下支えする学術的基盤 - 哲学、心理学、社会学、歴史学と教育学との関係性。	3.1 アカデミック・リテラシー
2) 文化的、社会的、政治的、歴史的、技術的、経済的文脈が学習に及ぼす影響 - 教育政策、道徳的・宗教的・哲学的基盤、社会的公正に関する事項を含む。	3) 教育に関するグローバルな事項。 4) 平等・不平等、社会的公正、教育学に関する研究から導かれたエビデンスに迫るアプローチ。	1) 文化的、社会的、政治的、歴史的、経済的、技術的文脈が学習に及ぼす影響について、幅広い学術スキルを用いて説明することができる。
3) 学習における制度的・非制度的文脈 - 国内外の教育制度、及び組織を下支えする価値観についての理解を含む。	2) 教育制度の社会的・組織的構造、及びその目的。	2) 学習における制度的・非制度的文脈に関する、地域、国家、及びActiveレベルの理解。 3) 教育システムの社会的・組織的構造や目的、学習者及び学習プロセスに与え得る示唆について評価することができる。
4) 教育に適用される一連の研究の視点・方法論。	5) 学習、教育、学問分野の知識に迫るアプローチ。	3.2 研究リテラシー 6) 教育に適した研究の視点や方法論を適用することができる。
5) 教育及びその文脈との複合的な相互作用、他の学問分野や職業との関係性。		

Application

IOE Intellectual (thinking) skills

6) 多様な文脈における人間の学習と発達に関する複合的状況の分析 - 自己の学びを含む。	8) 教育学の概念、理論、政策事項について、系統的に分析する。	5) 多様な文脈における人間の学習と発達に関する複合的状況の分析 - 自己の学びを含む。
7) 政策の実践事例の援用。	6) 教育学における主要な理論的知見の理解と活用。 7) 研究から導かれたエビデンスや理論的概念を幅広く引用することで、口頭および記述で自らの議論を保持する。	7) 幅広いエビデンスに基づいて、政策と実践における適切で正当的な変容をもたらすことができる。
8) グローバル化が教育制度に及ぼす影響、社会的公正、持続可能な発展、社会的包摂等に関する新しい考え方の受け入れ、深く考察された結論の析出。	9) 特定の立場を擁護するために、多様な立場を評価し、学術的な議論を構築する。 10) 教育研究を特定し、解釈し、批判的に評価する。	
9) 教育に関する国際的・多文化的次元、新しい技術、世界的な人間の移動の活発化の影響についての考察。		3.5 市民参加 15) 教育に関する国際的・多文化的次元、インターネットの活用、世界的な人間の移動の活発化の影響についての考察。
	11) 一次資料、二次資料を解釈する。 12) 図書目録、電子データベース、オンライン上の情報を専門的に検索し、効果的に情報を収集する。	3.4 デジタル情報リテラシー 11) 自己の知識と理解を広げるために、理論的、実証的エビデンスを含む一次資料、二次資料を幅広く選択することができる。 12) 図書資料、政府文書、大衆・情報メディアを印刷・電子媒体で活用しながら、情報を収集・管理することができる。

Reflection:

IOE Practical skills (able to):

10) 自らの価値観、発達、行動について省察する。	13) 議論に疑問を持ち、その妥当性を検討する。自他の価値観について考察する。	3.3 批判的自己認識・パーソナルリテラシー 9) 自らの知識と理解を援用し、生涯学習者としての不断の発達を促す姿勢を形成する。
11) 学びの中で出会った概念や理論に疑問を持つ。	15) 教育実践家や政策立案者が遭遇する課題について分析・評価する。	
12) 理論と研究の前提を問い直す。	14) 教育政策、提言、計画されている研究事業について専門的知識に基づく判断をする。	8) 教育研究の前提となる価値観や原則について議論することができる。
	16) レポート（論述、政策や研究の批判的レビュー、グループ発表、個人発表、（電子）ポートフォリオ）を計画、調査、執筆する。	

Transferable skills

IOE Transferable skills (able to):

13) 口頭・記述の議論を構築して伝える。	17) 口頭・記述で考えや議論を効果的に伝えることができる。	13) デジタル・メディアを活用してコミュニケーションをとることができる。
14) 技術を効果的に活用する。	18) 研究とレポート執筆を支えるコンピュータ・リテラシー - 多様な形態のデータ分析を含む。	
15) 該当する数量的情報を解釈したり、導いたりする。		
16) チームの一員として、多様な役割を担いながら、他者と効果的に協働する。	20) 協働して作業や計画をする能力。	
17) 研究能力、学習の計画・管理・省察能力を発達させることを通して、自らの学習と行動を改善する。	19) エビデンスを整理して評価するために必要な研究能力 - 多様な形態のデータの解釈を含む。	10) 自ら目標を立て、自らの行動を評価し、自律的に、かつ協働して学ぶことができる。
18) 課題と解決策を同定・統合・評価・分析する。		4) 該当する理論的知見を選択・統合し、教育事項に関する異なる知的立場を正当化することができる。
19) 環境の変化に積極的かつ構築的に対応する。	21) 学習戦略をたて、効果的な作業様式を形成する - 締め切りを守ることを含む。	14) 学習者の多様性、学習と文脈の相互作用、学習者が学習のプロセスに影響を及ぼしうる方法についての理解。

→ ローカライズして書き換え
研究大学として、知的思考力 (Intellectual thinking skills)、実践力 (practical skills) を重視していることが読み取れる。

→ 批判的自己認識・パーソナルリテラシー、デジタル情報リテラシー、市民参加という形で、学修成果を表現。